
苦しみの果てに（仮題）

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

苦しみの果てに（仮題）

【コード】

N5508Q

【作者名】

ごほんライス

【あらすじ】

まあ例によって大アドリブ大会のため、あらすじ書けないよ！！

毎日毎日地獄である。働いても働いてもまったく給料が上がらない。本当に自殺したい。

オレは図書館で通り魔が主人公の小説を読んでいた。こんなことなら通り魔でもしてしまおうか。このまま黙って世間の言いなりになっていたら非正規労働者は苦しむばかりだ。正社員ばかりがおいしい思いをする。

しかしオレはすばる文学賞に投稿する予定の書きかけの原稿のことを思い出す。

「落選してから通り魔しようかな」

オレは本を閉じ、棚に返し図書館を出た。

枯れ葉が舞う。寒い。

前に立ってる女の子。小学生だろうか。キャミソール一枚で寒くないのかな。ミニスカートだし。

女の子が近寄ってきた。

「おじさん。二千元でどう」

「えっ何が」

「んもう。わかってるくせにい」

オレは急いで逃げた。犯罪者になればもう投稿ができない。そんなのいやだ。

オレは、公園のベンチでひと休みする。

「はあはあ。しかし、ちょっとかわいい子だったな。いかんいかん。ロリ禁止！　ロリ禁止！」

オレは、アパートに帰り、小説を書き始める。とにかく、すばる文学賞に当選しないと、どうにもならない。去年は確か応募総数が1300点だったらしいが、負けてはおれん。非正規労働はもういやだ。

数日後、オレは、原付が故障してかなり困った。バス代がごつつ高いのだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5508q/>

苦しみの果てに（仮題）

2011年10月9日19時15分発行